

先天性心疾患は、病気の種類の複雑さや病気の中での重症度などによって、みられる症状がさまざまあります。そのため、お子さん本人やご家族とよく話をし、**日頃のお子さんの状態についての情報を得ておくことが大切です**。また、日頃と比べて身体の状態が悪くなった場合に備えて、担任、養護教諭、ご家族と緊急時の連絡方法をよく話しあっておき、緊急時にすばやく対応できるようにしておきましょう。必要があれば、お子さん・ご家族の同意を得て、医療スタッフからの説明を受けることもできます。

日頃のお子さんの状態を知るために必要なポイントを示しました。

情報を得るポイント

- ・起こりうる症状として
 - 顔色が悪くなる、むくみ、不整脈、失神、疲れやすい、
 - 活動量が減る、食欲が低下する、出血 など
- ・本人が感じる体調の変化は何か（自覚症状）
- ・本人は体調の変化をどの程度言えるか、どのように聞いたら本人が言いやすいか
- ・普段の生活の様子、生活や運動の制限の必要性
- ・内服薬について
 - 種類、いつ飲んでいるのか、自分で飲めるのか、
 - 食べ合わせに問題がある食材がないか、
 - 薬の副作用で気をつけなければならないこと など
- ・緊急連絡先と連絡方法

今までお話してきたように先天性心疾患にはさまざまな症状があります。ここでは、顔色が悪くなってきたときと不整脈が疑われるときの対応について、示します。

心疾患の症状では、顔色が悪くなることをチアノーゼと表します。チアノーゼは、病気の種類や治療の段階によって、生じるお子さんと生じないお子さんがいます。